

【複本館長からのメッセージ】

秋なのに夏のような日差しが・・・などと話していたら、突然の雪！！11月の積雪は東京都心では観測史上初だとか。横浜辺りでも11月の積雪は54年ぶりだというのはですから驚きです。自然界が「温暖化」という傷を受けた事で治癒能力が働いたのでしょうか・・・。今年の冬は大雪になるか心配です。また、今月は師走ということもあり何かと忙しい日が続きますが、皆様健康には十分お気を付け下さい。夢の島では今月も、『子どもしぜん科学大賞作品展示』、『ラン展』、『冬の夜間開館』、『ライトアップ』などをイベント目白押し。なかなかお時間のないこの時期ですが、暖かく過ごしていただけるよう、皆様のお越しを心よりお待ちしております。 館長



▲ チャリティーツリー

季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

12月には企画展盛りだくさん。「夢の島ラン展」(11/29～12/25)では、丹精込めて開花させた希少な蘭を展示。「熱帯のクリスマス展」(12/6～12/25)では「チャリティーツリー」の設置、オーナメント作りのコーナー、クリスマス関連の植物を大集合させた「クリスマスを彩る植物展」も開催します。また12/10は「冬の夜間開館 2016」夜の大温室開放、滝の上コンサート、夢の島BARもお楽しみ頂けます。真冬の植物館でワクワクの時間をお過ごし下さい。

【企画展】

「夢の島ラン展」(11/29～12/25) 「熱帯のクリスマス展」(12/6～12/25)
干支の植物展」(12/27～1/29)

【12月のイベント】

「ウィークエンドコンサート」(12/3、17) 「ハーブの学校」(12/4) 「森の学校」(12/10) 「冬の夜間開館 2016」(12/10)
「クリスマスリース講習会」(12/11) 「クリスマスアレンジメント講習会」(12/18) 「クリスマススペシャルコンサート」(12/23)
「お正月アレンジメント講習会」(12/25)

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

南半球のクリスマスは、ご存知の通り北半球とは違い、夏の時季になります。その頃に花を咲かせることから、クリスマスツリーと呼ばれる植物があります。メロシデロス・エクスケルサという学名を読んだままの名で、和名はまだありません。

ニュージーランド北部が原産のため、ニュージーランドクリスマスツリーと言われることもあります。また現地の言葉であるマオリ語では「ポフツカワ」と言い、生育環境がよければ、20～25メートルにもなる常緑高木です。花は、夏に枝先いっぱい咲きます。フトモモ科らしく約3.5センチと長く赤い雄しべがブラシ状になって目立ち、樹全体が赤く見えるほど咲きます。この花は、ニュージーランドの人々にはとても親しまれ、ワインのラベルに描かれたりもします。さらにこの花から採れる蜂蜜は、イギリス王室ご用達としても有名だそうです。

当館ではオーストラリア原産の植物を展示している屋上庭園に、メロシデロスを植栽しています。ただし、生育環境が少々合わないのか、まだ開花をみたことがありません。これ以外に、栽培温室で保有している鉢物は夏期といわず、周年開花しています。12月6日から、クリスマスの名を持つ植物や、ちなんだ植物を集めて展示する「クリスマスを彩る植物展」の開催時に、鉢物を展示します。



▲ メロシデロス・エクスケルサ
(フトモモ科)

今月の花と実



▲ ヘリコニア・プシタコルム



▲ キダチアロエ



▲ ドンペヤ・ウオリッキー

♪ この時期の人気者

急な季節の変化に付いていこうと、前庭のデイゴはいつもより早く葉を落とす準備に入りました。まだ屋外でも目を楽しませるのは結実物です。

沖縄では「クバ」と呼ばれ、大きな葉が笠やうちわに使われるピロウには、アーモンドチョコレートのようなつるつるの実がたわわに実っています。

「絞殺しの木」の名でも呼ばれるアコウは、クワ科イチジク属。幹にびっしり実を付けます。

【ササニシキ】団体不可
コーヒータン 一杯無料
12/1～12/28

予告：次回は1/25の発行予定です。